

## 昭和の時代の経験を活かしながら

私は、シニア海外ボランティアとしてシェムリアップ州公共事業運輸局(DPWT)で道路に関する活動をしています。

JICAカンボジア事務所の定期的な会合でプノンペンに上っていつも感じる事は、走っている車やバイクがなんと綺麗なこと! シェムリアップでは雨期は取分けひどく、乾季でもほとんどの車はラテライト(赤土)の泥やほこりで赤茶色く汚れています。幹線道路以外はほとんど未舗装道路、信号交差点も10か所程度しかなく、朝夕の酷い交通渋滞や交通事故の危険性も高く、世界の観光都市としてはまだまだといった状況です。

2014年に大阪の地方自治体を退職する際に、37年間の主に道路行政の経験を若い職員に話をし、「昭和の時代はそ



DPWT職員と交通量調査中(本人右端)

んな道路事情だったのですか」と驚きの声を聴き、そして2018年12月に配属先で自己紹介を兼ねた道路整備の歴史や経験を話し、「日本もそんな道路の時代が・・・今のシェムリアップの様」との声を聞き、少しでもこれまでの経験がお役に立てればと活動を続けています。

ところで、プラタモリのようにふらふら歩きまわるのが好きで、当地のオールドマーケット周辺の路地は、フレンチコロニアル様式の建物に囲まれ小粋なお店やレストランが並んだほっこり空間です。お時間のある時にはぜひ散策をしてみてください。



一番お気に入りの路地

### 高島 伸哉 Takashima Shinya

大阪市出身、地方自治体の土木技術職員として勤務し、退職後にボランティアに応募。今の趣味はプラタモリの散策の他、退職後に地元のベートーヴェン第九の合唱団に参加し舞台に3回立ったが、そろそろウズウズしています。